

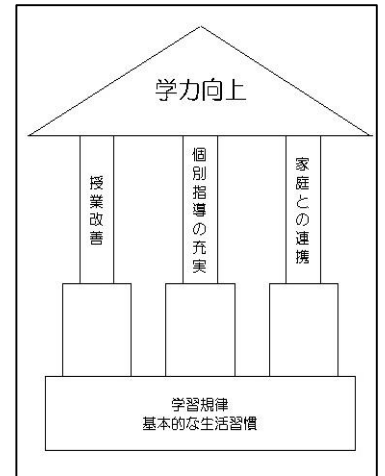
# 平成 29 年度 新町中学校の学力向上対策

○今年度 校内研修の主題・副主題

基礎的・基本的な内容を身に付け、活用できる生徒の育成  
 ～「対話的な学び」に視点をあてた指導方法の工夫を通して～

## ① 授業改善（計画訪問 9 月 29 日）

- ・分析結果(H28)の活用と学力調査(H29)の分析（資料：裏面）
- ・年間指導計画にそった授業実践
- ・新町中学学習過程スタンダード  
 [つかむ] → [追究する] → [振り返る]  
 「学習意欲を高める主発問」「学習のふりかえり」「対話的な学び」



## ② 個別指導の充実

### ア プレテストとベーシックテスト（成績には反映しない）

#### ○プレテスト

- ・1 学期は国数英を日替わり（6 月 27～29 日）で 1 教科ずつ、朝読書の時間に実施済み。  
 12 月 4～8 日、3 月 5～9 日に実施予定。7 分で解いて、生徒同士で 3 分で丸付け。

#### ○ベーシックテスト

- ・1 学期は、7 月 10 日に国数英をまとめて放課後に実施（プレテストと同じ問題）。  
 12 月 18 日、3 月 19 日に実施予定。計 20 分で解いて生徒同士で丸付け 10 分。

### イ 放課後補習

- ・プレテストで各教科それぞれ正答 7 問未満の生徒が対象。2 学期から平日放課後に実施予定。

### ウ 長期休業中の補習

- ・ベーシックテストで各教科それぞれ正答 7 問未満の生徒が対象。  
 8 月 1 日～3 日の参加人数→
- ・時間：3 学年共通で、30 分×3 ラウンド。間に 10 分休憩。
- ・内容：英語を実施。英語対象者が多く、国数対象者は  
 ほぼ英語対象者と重なっているため。

	国	数	英
1 年	2	4	23
2 年	3	11	24
3 年	3	3	9

### エ 『葦の芽タイム』との連携

## ③ 家庭との連携

### ア 家庭への啓発

- ・リーフレット「学力を伸ばすためのポイント」
- ・リーフレット「新町の生活・学習ガイドライン」
- ・家庭学習のしおりの活用
- ・学力向上に向けた取り組みについて（学校・学年・学級通信）

### イ 連絡用ファイルの活用（なくした生徒は 50 円で購入可能）

### ウ 家庭学習強化週間と定期テストにむけた学習計画と記録・評価

- ・家庭学習強化週間→定期テスト 2 週間前から実施
- ・強化用紙とテスト計画用紙を兼ねた「学習計画記録表」を全校統一で作成。（生徒・担任の負担を減）

### エ 家庭学習の取り組みませ方の工夫（家庭学習に取り組めない生徒への対応）

平成29年7月4日

保護者 様

高崎市立新町中学校  
校長 山崎 幹夫

全国学力調査の結果を受けて

日頃より、新町中学校の教育活動へのご理解とご協力に、感謝申し上げます。4月11、12日に実施された全国学力調査（高崎市全中学校で実施）の結果をふまえ、生徒の学力向上のための取り組みを下記によりお知らせします。ご理解とご協力(励ましや、声かけ)をお願いします。

記

教科	①課題（伸ばしたい部分）	②今年度新町中で重点的に取り組むこと
国語	全学年 新出漢字を読み書きできるようにしたい。	・週に一度、漢字テストを実施。
	1・2年 文章をまとめる力を伸ばしたい。	・作文練習を増やし、定期テストで作文を出題。
	3年 古文読解の力を伸ばしたい。	・授業で古文読解の機会を多く設ける。
社会	1年 教科書の太字を覚えさせたい。	・单元ごとに重要単語の小テストを実施。
	2年 勉強したこと同士を関連させて考える力を伸ばしたい。	・習った知識を使って、「なぜ〇〇なのか」を考える練習を繰り返し行う。
	3年 学習したことを自分の言葉で表現する力を伸ばしたい。	・その日の学習内容をもとに、授業のまとめを自分で書く。
数学	全学年 <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人差が大きい。</li> <li>・基礎学力を定着させたい。</li> <li>・興味関心を高めたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の導入で豆テストを実施し、前時の復習や計算練習を行う。</li> <li>・対話的な学びを意識して、基礎を丁寧に指導。</li> <li>・課題の工夫をして、興味関心を高める授業作りをする。</li> </ul>
理科	1年 思考・分析できるようにしたい。	・実験結果を分析し、しっかり説明できるようにする。
	2年 説明・表現できるようにしたい。	・結果を生徒自身がまとめることができるようにする。
	3年 得意で努力した範囲と、苦手で努力ができなかった範囲の差が大きい。	・範囲により苦手なところがないように、偏り無く学習が進められるようにする。
英語	全学年 <p>ごい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・語彙力を高めたい。</li> <li>・基本文の定着を図りたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業や宿題で身につけさせたい単語を提示し、ノート等にくり返し練習する。</li> <li>・ALT との TT や教科書の Let' s Talk など対話形式の練習を数多く行う。</li> </ul>
	3年 <ul style="list-style-type: none"> <li>・長文読解力をつけたい。</li> <li>・作文力を高めたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で長文ドリルを行い、定期テストで出題。</li> <li>・授業で英作文ドリルを行い、数多く練習し、豆テストで確認。</li> </ul>